

## 2 地域別部会の今後の進め方について（イメージ）

- ・R5に計画【基本的な骨格】の策定、R6には計画【品質保証の具体化】
- ・計画本体・地域別部会それぞれで**PDCA**を実施
- ・地域別部会においてもR6年度以降深化させ、地域編をアップデート、継続的な議論を実施

R5

R6

R7...

計画本体

### 「長野県地域公共交通計画」策定

- ・基本的な方針（目指す将来像、目標、サービスの品質保証等）
- ・目標の達成に向けて実施する施策（地域間幹線系統補助等）

12月 計画案審議  
2月 決定・公表

### 計画のアップデート ・施策の具現化

- ・R6当初でリーディングプロジェクト要求中  
⇒予算が成立した施策から実行
- ・必要に応じて予算要求

12月 本体・地域編の更新審議  
3月 決定・公表

### 効果の検証

- ・利用者数、収支率等のデータを定期的に収集し、計画の実施状況のモニタリング
- ・結果を評価し、取組内容の改善や計画の見直しを実施  
⇒次年度以降見直した事業を実施し、より効果的な事業の実施・改善

### 施策の具現化

- ・具体的施策の実行

地域別部会

### 「地域編」策定

- ・地域特性、地域公共交通の概況・課題まとめ
- ・バス路線の状況や将来ネットワークの整理

11月 地域編案の審議

### 計画のアップデート ・利用促進や課題に対する対応等地域ごとの取組

- ・【通院・通学】：アクセス確保、ダイヤ便数の確保（品質保証）
- ・【観光】：アクセス確保
- ・必要に応じて予算要求

11月まで（随時） 議論

### 効果の検証

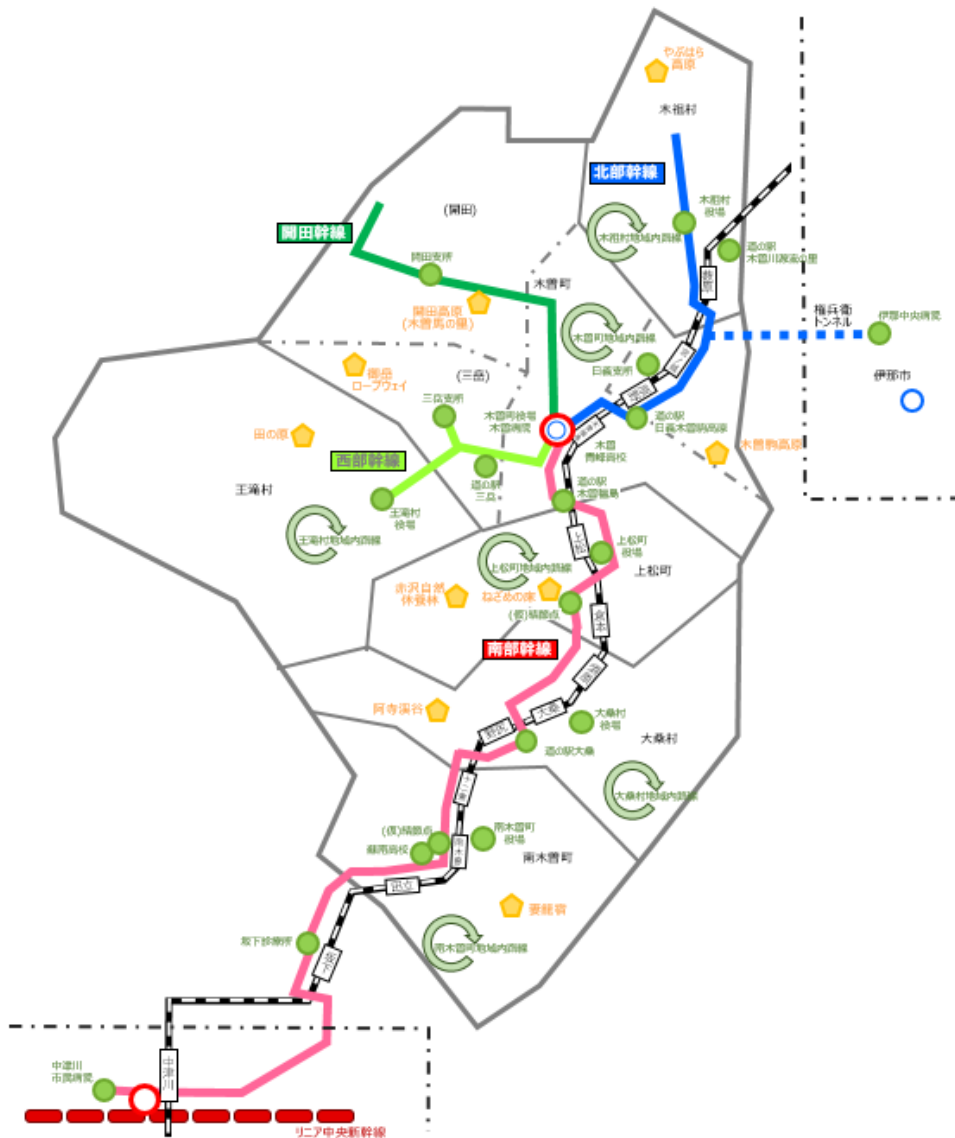
- ・利用者数、収支率等のデータを定期的に収集し、計画の実施状況のモニタリング
- ・結果を評価し、取組内容の改善や計画の見直しを実施  
⇒次年度以降見直した事業を実施し、より効果的な事業の実施・改善

### 施策の具現化

- ・具体的施策の実行

# 木曽地域において目指す交通体系

※この資料は長野県地域公共交通計画の各地域編における次年度のアウトプットイメージです。  
木曽地域で現在策定中の計画をモデルにしていますが、イメージをわかりやすくするために調整したものであり、実際の計画内容とは異なります。



## 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な路線・拠点	
拠点	広域拠点	○	・三大都市圏などと接続する地域としての玄関口	・木曽(木曽町中心部) ・木曽福島駅 ・木曽町役場、木曽合同庁舎 ・木曽病院 ・木曽青峰高校 ・イオン、Aコープ	
	圏域拠点	○	・広域圏の中心地	木曽町	
	地域拠点	●	・地域内における主要目的施設 交通結節点など	木曽町	・日義支所 ・開田支所 ・三岳支所 ・道の駅木曽福島 ・道の駅日義木曽駒高原 ・道の駅三岳
				上松町	・上松(駅・町役場周辺) ・(仮)結節点(ねごめ付近)
				南木曽町	・南木曽(駅・町役場周辺) ・蘇南高校 ・(仮)結節点(吾妻付近)
				木祖村	・木祖(村役場周辺) ・道の駅木曽川源流の里
王滝村				・王滝(村役場周辺)	
観光拠点	⬠	・地域公共交通でのアクセスを確保すべき観光地  ※幹線でカバーできない観光拠点へのアクセスは原則としてE軸で担う	大桑村	・大桑(駅・村役場周辺) ・マルトシ ・道の駅大桑	
			域外(要接続)	・伊那中央病院 ・坂下診療所 ・中津川市民病院	
			上松町	・赤沢自然休養林 ・ねごめの床	
			南木曽町	・妻籠宿	
			木曽町	・木曽駒高原 ・開田高原 ・御岳ロープウェイ	
軸	[A] 広域都市間連携軸	— — — — —	・三大都市圏などに接続する軸	鉄道 ・中央西線(特急列車)[JR東海] (88%) ・リニア中央新幹線[JR東海]	
	[B] 圏域間連携軸	— — — — —	・隣接県や県内の他圏域と接続する軸	鉄道 ・中央西線(普通列車)[JR東海]	
	[C] 圏域内連携軸	— — — — —	・町村間の移動を支え 圏域拠点を結ぶ軸	バス ・南部幹線 ・北部幹線 ・西部幹線 ・開田幹線	
	[D] 地域内連携軸	○	・地域拠点と居住区を結ぶ軸	バス ・各町村のコミュニティ交通	
	[E] 地域内連携軸	○	・地域拠点と居住区を結ぶ軸	バス ・各町村のコミュニティ交通	

## 各連携軸の保証品質

※この資料は長野県地域公共交通計画の各地域編における次年度のアウトプットイメージです。  
木曾地域で現在策定中の計画をモデルにしていますが、イメージをわかりやすくするために調整したものであり実際の計画内容とは異なります。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準		
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯	運行本数
<b>B</b> 圏域間連携軸	木曾地域を出発して隣接圏域の病院に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	木曾福島駅を出発して隣接圏域の高校に始業時刻前に到着。終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	一次交通の位置づけであり、観光地にあわせた路線や駅の設定などは行わないが、観光ニーズに対応した便が確保されている。	平日・土日とも (同水準で運行)	概ね6～22時	15往復/日程度
<b>C</b> 圏域内連携軸	圏域内の各居住区を出発して地域医療を担う木曾病院及び坂下診療所(状況に応じて将来的に中津川市民病院)に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して木曾青峰高校に始業時刻前に到着。終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	観光地へのアクセスを主眼に置いた路線設定は行わないが、軸に近接した観光地がある場合は、路線やバス停の設定にも配慮する。観光客の移動にあわせ、午前中は到着列車に、夕方は出発列車との接続を重視する。	平日・土日とも (休日については減便を許容)	概ね6～21時	10往復/日程度 (平日)
<b>D</b> 地域間連携軸	木曾地域においては設定を見込んでいないが、設定する場合には概ね[C]圏域内連携軸と同等の水準とする。					
<b>E</b> 地域内連携軸	[E]地域内連携軸の運行内容は各町村に委ねるものとしているが、目安を以下に掲げる					
<b>E</b> 地域内連携軸	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[B]圏域間連携軸、[C]圏域内連携軸への乗継ぎにより地域医療を担う木曾病院及び坂下診療所(状況に応じて将来的に中津川市民病院)に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[B]圏域間連携軸、[C]圏域内連携軸への乗継ぎにより木曾青峰高校及び蘇南高校に始業時刻前に到着。終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	各町村において振興に注力する観光地へのアクセスについては、[A]広域都市間連携軸、[B]圏域間連携軸、[C]圏域内連携軸からの乗継ぎなどに配慮しながら、原則として[E]地域内連携軸にて担うものとする。	平日・土日とも (休日については減便・運休を許容)	概ね7～18時	6往復/日程度 (平日)

## 個別路線の運行内容(保証品質)

種別	路線名	実施主体	運行区間		保証品質(平日)		保証品質(土休日)	
			系統・区間	運行時間帯	運行本数	運行時間帯	運行本数	
<b>B</b> 圏域間連携軸	JR中央西線	JR東海	塩尻駅～名古屋駅	塩尻駅～中津川駅	6～22時	○往復	6～22時	○往復
<b>C</b> 圏域内連携軸	南部幹線	( )	本町～中津川駅	本町～池の尻	6～20時	○往復	7～19時	○往復
				本町～野尻	8～17時	○往復	8～18時	○往復
				本町～南木曾	8～17時	○往復	8～17時	○往復
				須原～坂下診療所	8～14時	○往復	8～14時	○往復
				南木曾～中津川駅	8～14時	○往復	8～14時	○往復
				木曾病院～宮ノ越	6～21時	○往復	7～20時	○往復
<b>C</b> 圏域内連携軸	北部幹線	( )	木曾病院～数原	木曾病院～数原	8～19時	○往復	8～19時	○往復
				本町～王滝・黒沢里宮	6～21時	○往復	6～19時	○往復
				本町～黒沢里宮	9～16時	○往復	9～16時	○往復
				木曾病院～神田宮前	6～21時	○往復	7～20時	○往復
<b>E</b> 地域内連携軸	開田幹線	( )	木曾病院～神田宮前	木曾病院～開田支所	10～15時	○往復	10～15時	○往復
				各町村のコミュニティ交通(支線)	郡内各町村	[E]地域内連携軸の運行内容は各町村に委ねる		

土休日が運休になる場合はこの欄に「運休」と記載